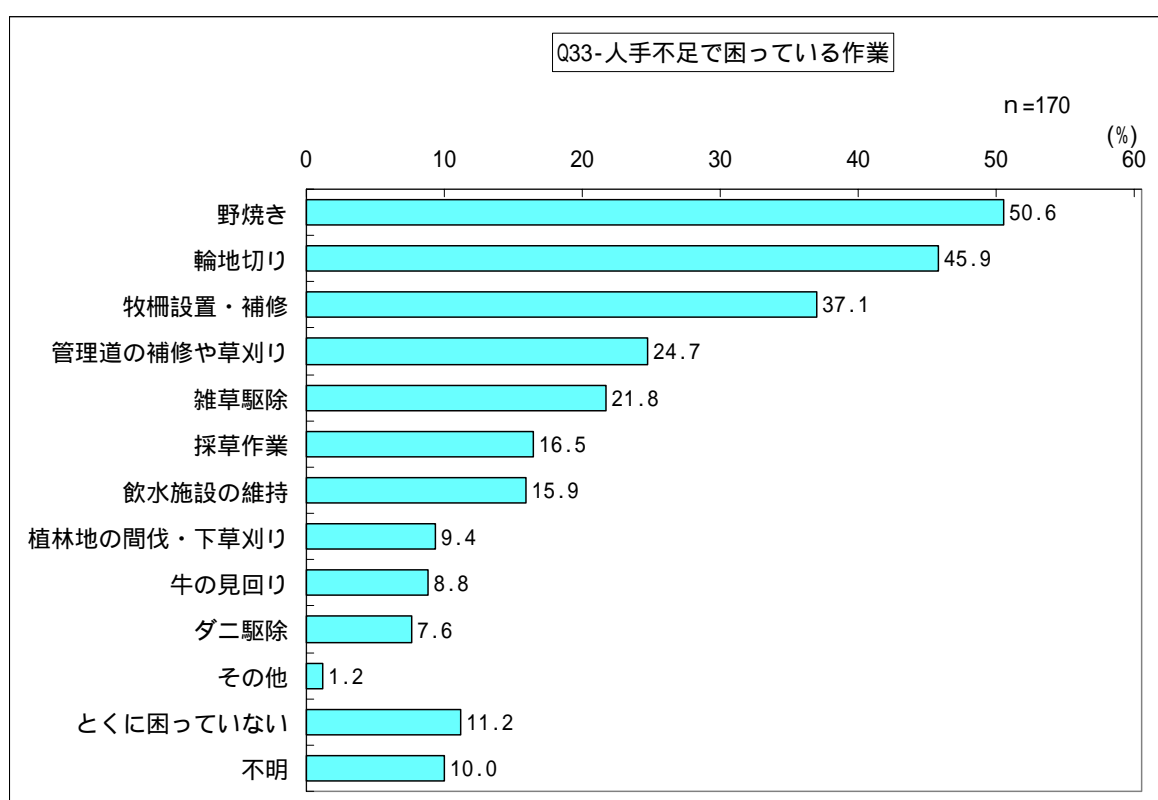


## 8. 牧野維持活動への支援についての意向

### (1) 人手不足で困っている作業

#### 「野焼き」「輪地切り」は半数程度の牧野組合で人手不足となっている

牧野維持管理のための共同作業のうち、人手不足で困っている作業についてみると、「野焼き」(50.6%)、「輪地切り」(45.9%)、「牧柵設置・補修」(37.1%)の順で多く挙げられている。次いで、「管理道の補修や草刈り」(24.7%)、「雑草駆除」(21.8%)と続く。なお、「とくに困っていない」とする牧野組合は約1割に留まっており、ほとんどの牧野組合で人手不足により牧野の維持管理に問題が生じている。

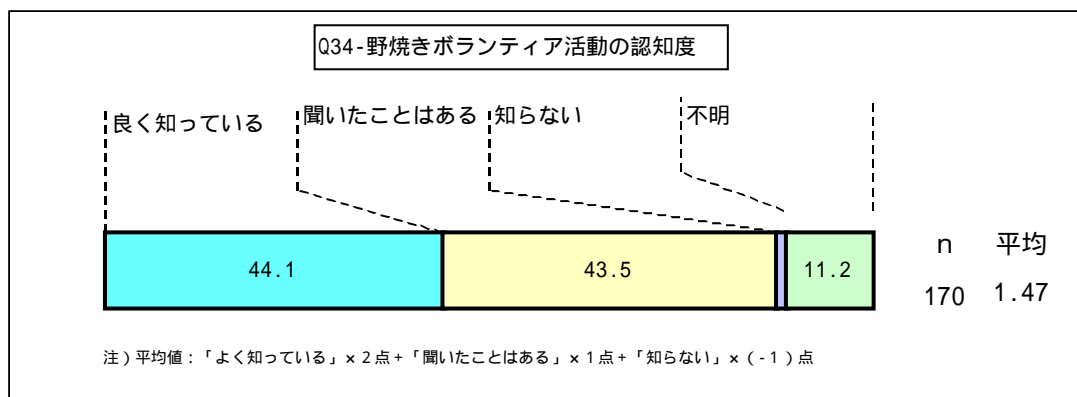


### (2) 野焼き・輪地切りボランティアの認知度と受け入れ意向

#### 1) 野焼き・輪地切り支援ボランティアの認知度

「良く知っている」も4割以上。認知度は、比較的高いといえる。

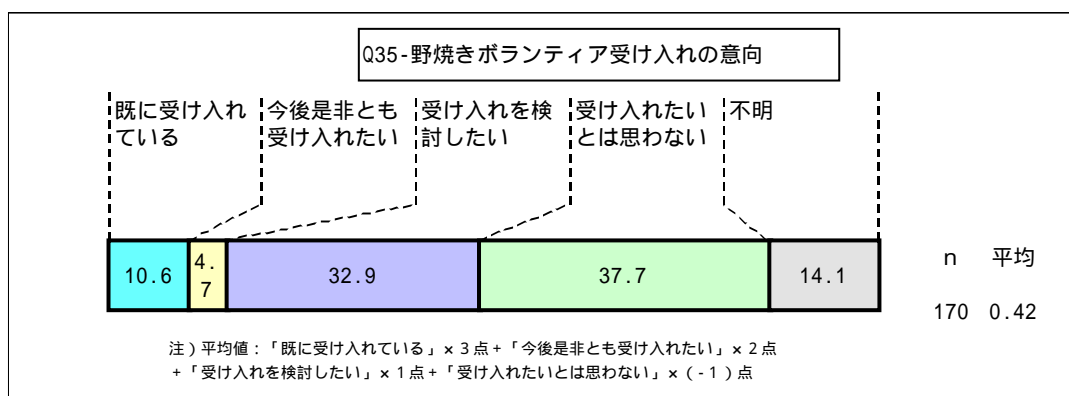
野焼き・輪地切り支援ボランティア活動の認知度についてみてみると、「良く知っている」牧野組合が44.1%、「聞いたことはある」が43.5%で、「知らない」という牧野組合は1.2%(2組合)に過ぎず、これまでの活動の実績を踏まえ、野焼き・輪地切り支援ボランティアは牧野組合の間での認知度が高まっているといえる。



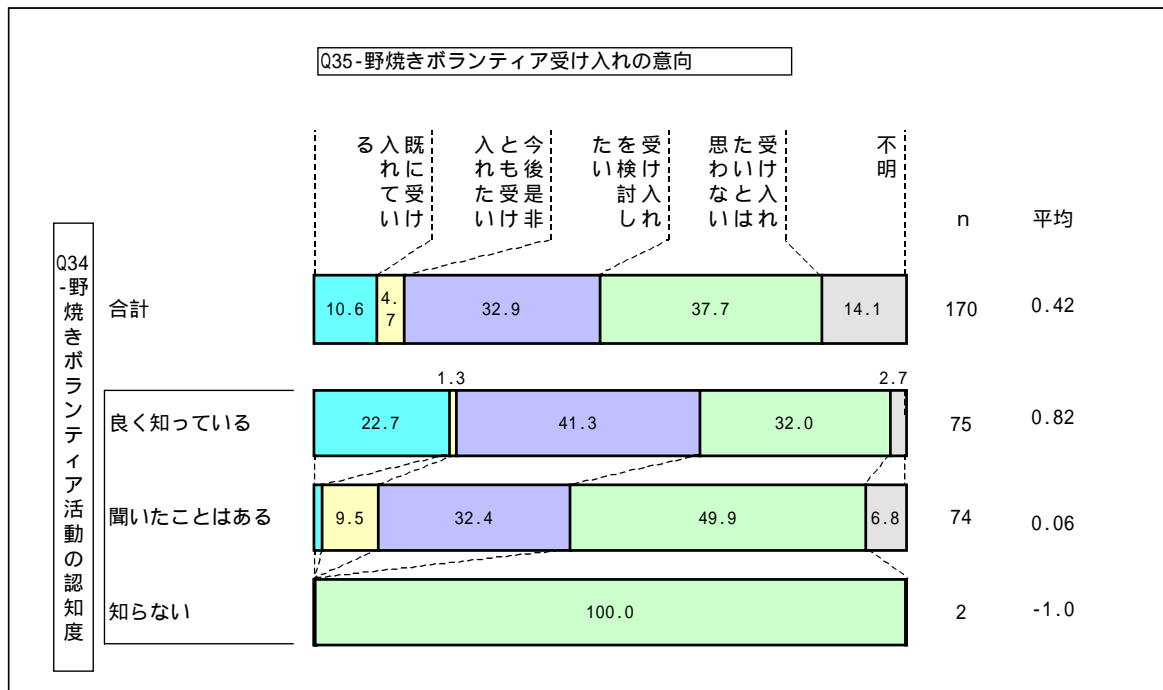
## 2) 野焼き・輪地切り支援ボランティア受け入れについての意向

### 既に受け入れている・受け入れを検討する牧野組合は半数程度

野焼き・輪地切り支援ボランティアの受け入れの意向についてみると、「既に受け入れている」牧野組合は10.6%で1割に上る。また、「今後は是非とも受け入れたい」は4.7%、「受け入れを検討したい」が32.9%となっており、牧野組合の半数近くが野焼き輪地切りボランティアを既に受け入れている、あるいは受け入れについて検討する意向を持っている。なお、「受け入れたいとは思わない」との牧野組合は37.7%と4割弱である。



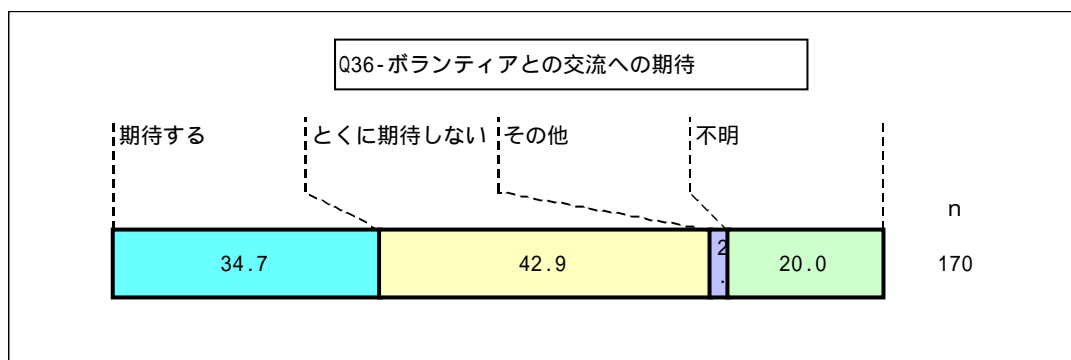
野焼き・輪地切り支援ボランティアの受け入れ意向をボランティアの認知度別にみると、やはり「よく知っている」牧野組合での実際の受け入れや受け入れ意向がある牧野組合が6割以上と多くなっている。



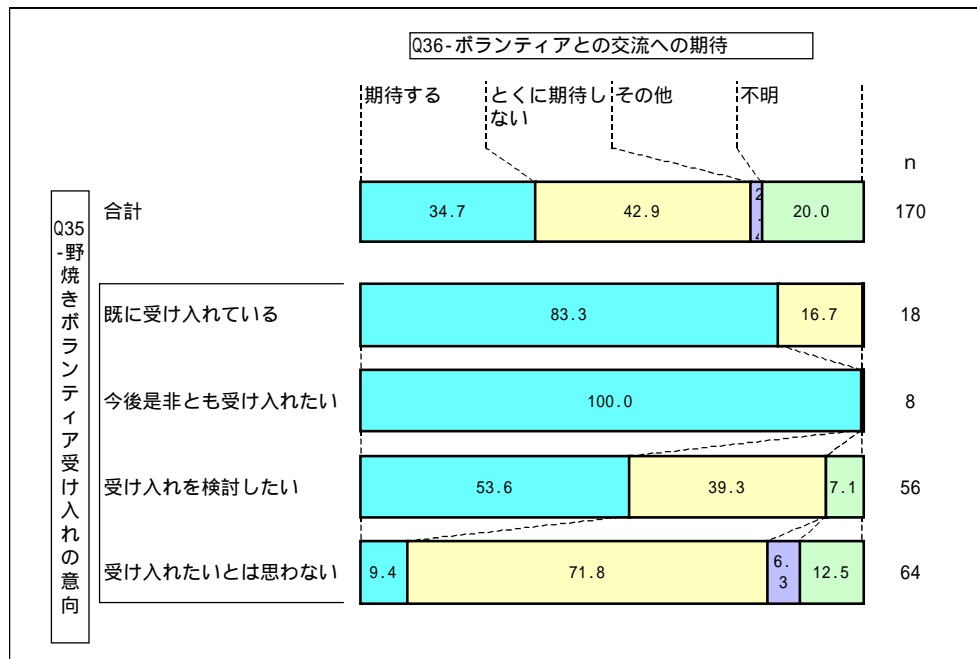
### (3) ボランティアとの交流に対する期待

**全体としては「期待しない」牧野組合の方が多いが、ボランティアを既に受け入れている・受け入れを検討する牧野組合では併せて交流の推進を期待する組合が多い**

ボランティアを人手不足の解消に留まらず、地域住民と都市住民との交流を広げるきっかけとして期待するかについての意向をみると、「期待する」牧野組合が34.7%、「とくに期待はしない」が42.9%で、期待しない牧野組合の方が上回っている。



ただし、これを野焼き・輪地切り支援ボランティアの受け入れ意向別にみると、「既に受け入れている」「今後是非とも受け入れたい」「受け入れを検討したい」牧野組合においてはボランティアとの交流に「期待する」牧野組合が多くなっており、ボランティアの受け入れに前向きな牧野組合は、ボランティアの受け入れを通じて都市・農村交流の広がりについても多くが期待しているという結果になった。

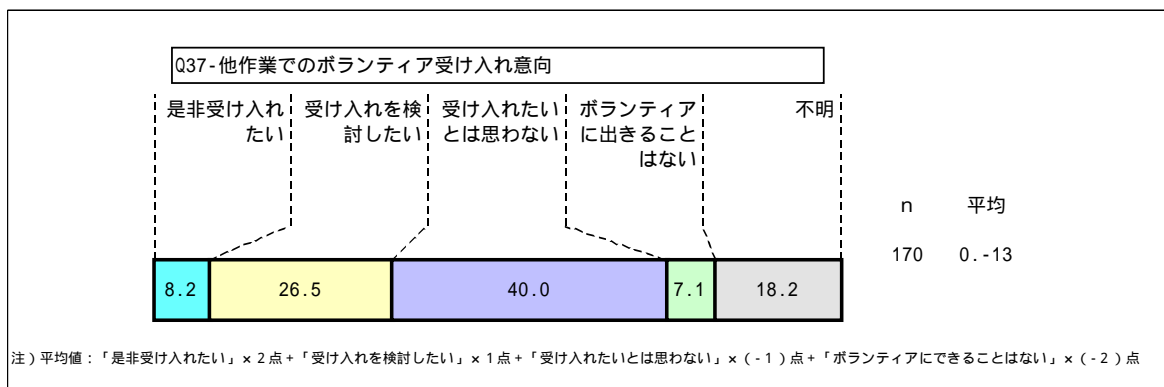


#### (4) 野焼き・輪地切り以外の作業におけるボランティアの受け入れ意向と条件

##### 1) 野焼き・輪地切り以外の作業におけるボランティアの受け入れ意向

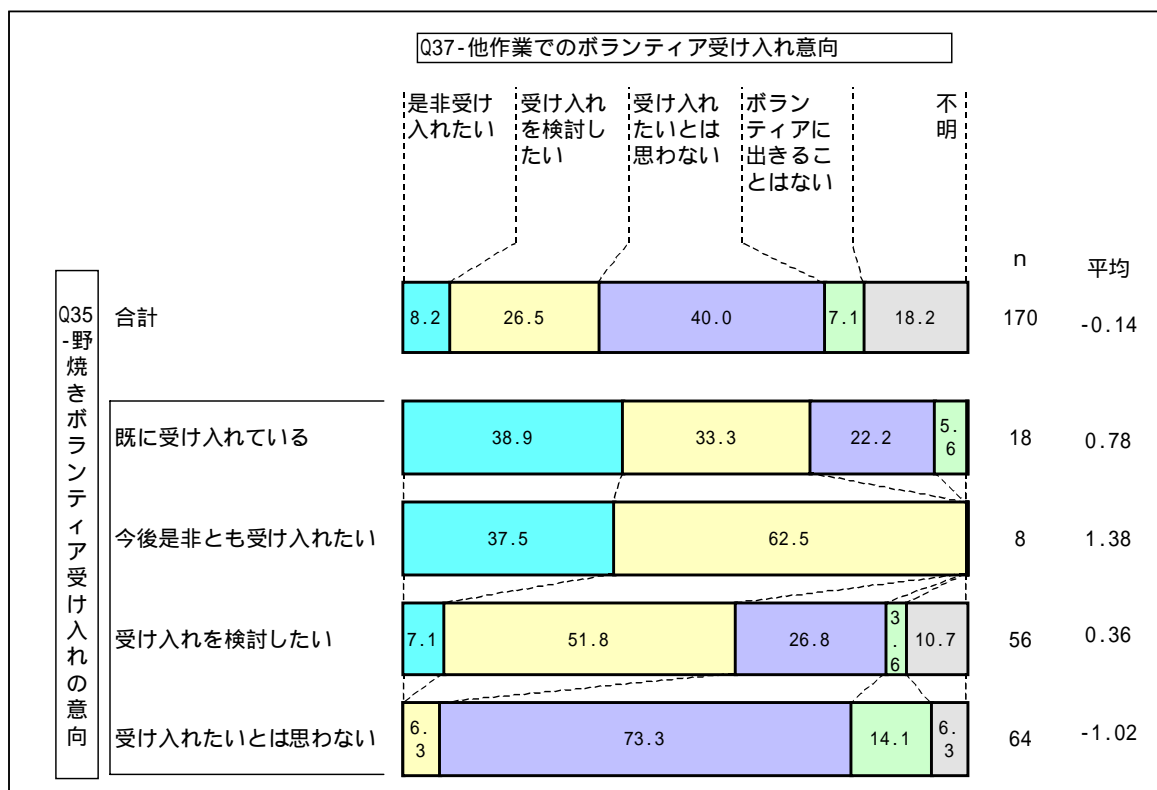
**全体としては受け入れ意向のない牧野組合の方が多いが、ボランティアを既に受け入れている・受け入れを検討する牧野組合では、併せて輪地切り・野焼き以外の作業でのボランティアを受け入れる意向のある組合が多い**

野焼き・輪地切り以外の作業でのボランティア受け入れに意向についてみると「是非受け入れたい」牧野組合が8.2%、「受け入れを検討したい」が26.5%で、受け入れ意向がある牧野組合は計34.7%である。一方、「受け入れたいとは思わない」牧野組合は40.0%、「ボランティアにできることはない」とする牧野組合も7.1%で、受け入れ意向のない牧野組合は計47.1%に上り、受け入れ意向のある牧野組合を上回っている。



ただし、これを野焼き・輪地切り支援ボランティアの受け入れ意向別にみると、「既に受け入れている」「今後は是非とも受け入れたい」「受け入れを検討したい」牧野組合にお

いては、野焼き・輪地切り以外の作業でのボランティア受け入れについても意向を持つ組合が多いという結果になった。



## 2) ボランティアに手伝って欲しい作業

野焼き・輪地切り以外の作業でのボランティアの受け入れ意向がある 59 牧野組合を対象に、ボランティアに手伝って欲しい作業内容を自由に記述してもらった結果、最も多かったのは牧柵の補修等で 16 組合が希望している。次いで雑草駆除（10 組合）、採草作業（7 組合）などが挙げられた。

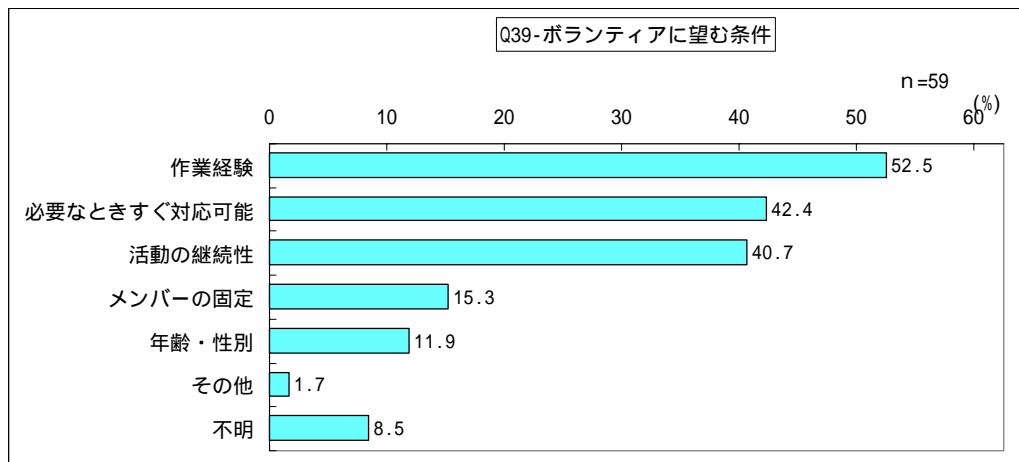
### ボランティアに手伝って欲しい作業

作業内容	受入を希望する牧野数
牧柵補修等	16
雑草駆除	10
採草作業	7
管理道補修	3
草地の管理、牧野更新、肥料散布	3
牛の飼育	1
ダニ駆除	1
森林の手入れ	1
草木、植物等の名前の提示	1
計	43

### 3) ボランティアに望む条件

#### 作業経験や機動力・継続性を重視するが、メンバーの固定や年齢・性別へのこだわりは少ない

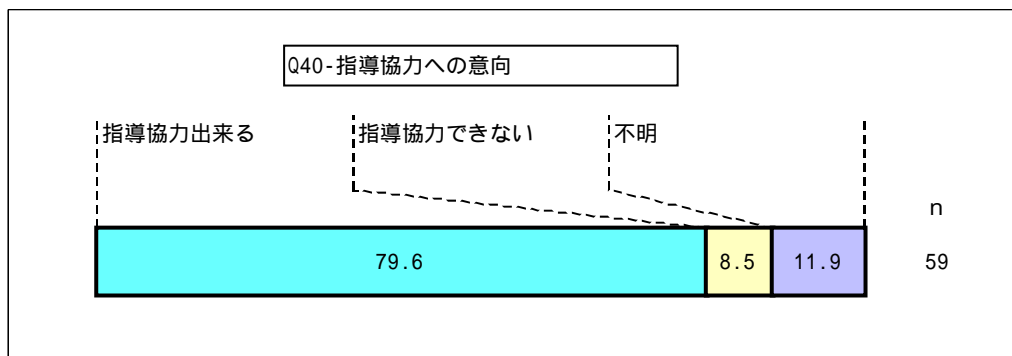
野焼き・輪地切り以外の作業でのボランティアを「是非受け入れたい」「受け入れを検討したい」と回答した 59 牧野組合を対象として、ボランティアに維持管理作業を手伝ってもらうときに重視する条件を聞いた結果、「作業経験」が 52.5%と半数以上の牧野組合で挙げられたほか、「必要なときすぐ対応可能」(42.4%)や「活動の継続性」(40.7%)も重視する牧野組合が多い。一方、「メンバーの固定」や「年齢・性別」にこだわる牧野組合はさほど多くない。



### 4) 技術的訓練に関する指導協力への意向

#### ボランティアへの技術的訓練指導は、多くの牧野組合で前向き

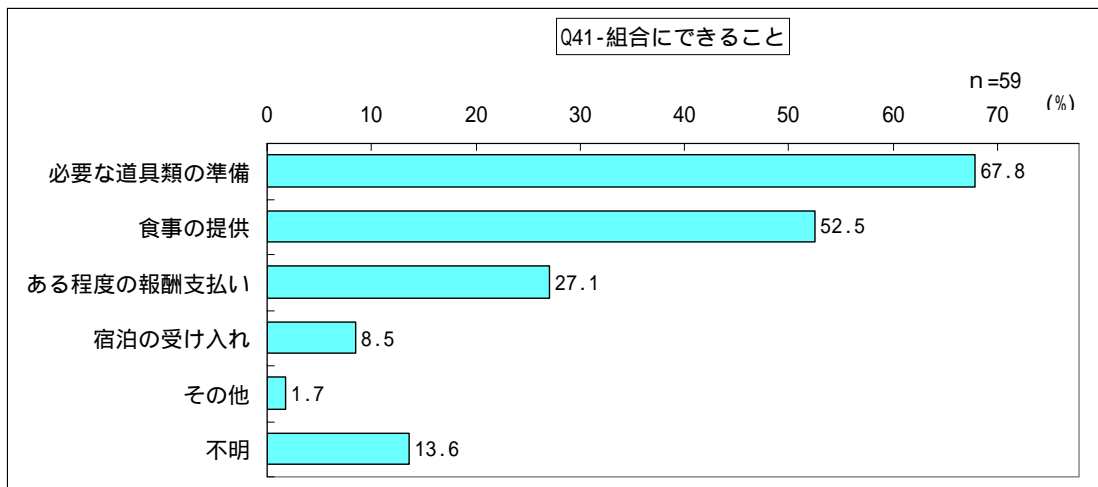
野焼き・輪地切り以外の作業でのボランティアを「是非受け入れたい」「受け入れを検討したい」と回答した 59 牧野組合を対象として、ボランティアへの技術的訓練が必要な場合、組合側の指導協力が得られるかについて聞いた結果、「指導協力できる」という牧野組合が 79.6%と 8 割を占めた。「指導協力できない」という牧野組合は 8.5% (5 組合)とわずかである。



## 5) ボランティアに対して組合側でできること

### 必要な道具類の準備、食事の提供は多くの牧野組合で可能とするが、宿泊の受け入れについては消極的

野焼き・輪地切り以外の作業でのボランティアを「是非受け入れたい」「受け入れを検討したい」と回答した59牧野組合を対象として、作業を手伝ってもらうときボランティアに対して組合側ができることについて聞いた結果、「必要な道具類の準備」は67.8%と7割近い牧野組合が対応可能と回答しているほか、「食事の提供」も5割以上の組合でできるとしている。そのほか、「ある程度の報酬の支払い」も3割近くが可能としているが、「宿泊の受け入れ」については8.5%（5組合）に留まった。



## 6) 作業委託についての心配点

### 人身事故を最も心配しているが、家畜への影響や一般人の立ち入り、草野踏み荒らしについては心配は少ない

野焼き・輪地切り以外の作業でのボランティアを「是非受け入れたい」「受け入れを検討したい」と回答した59牧野組合を対象として、作業を手伝って貰う場合の心配な点について聞いた結果、「人身事故」が66.1%と飛び抜けて多く、次いで「火災」(23.7%)が続く。これ以外の「家畜への影響」「一般人が牧野に立ち入るようになる」「草の踏み荒らし」については心配とする牧野組合はごくわずかである。

